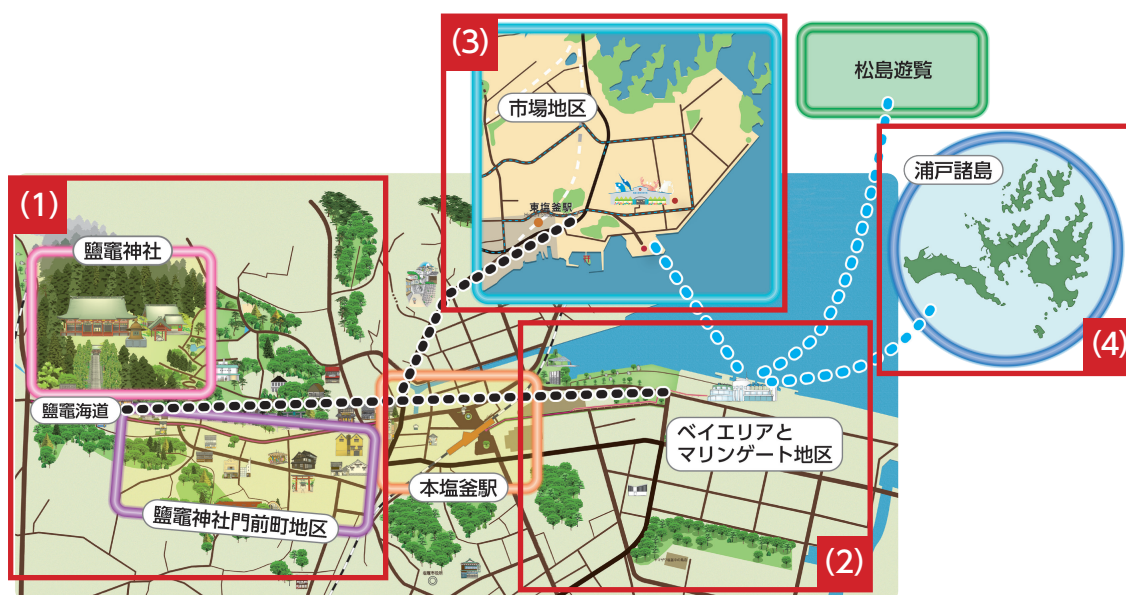


第5章 アクションプラン

塩竈市の観光拠点を4つの観光拠点と位置づけ、ここでは基本施策で掲げた内容を
具体化するため各観光拠点で取り組むアクションプラン（行動計画）を整理します。

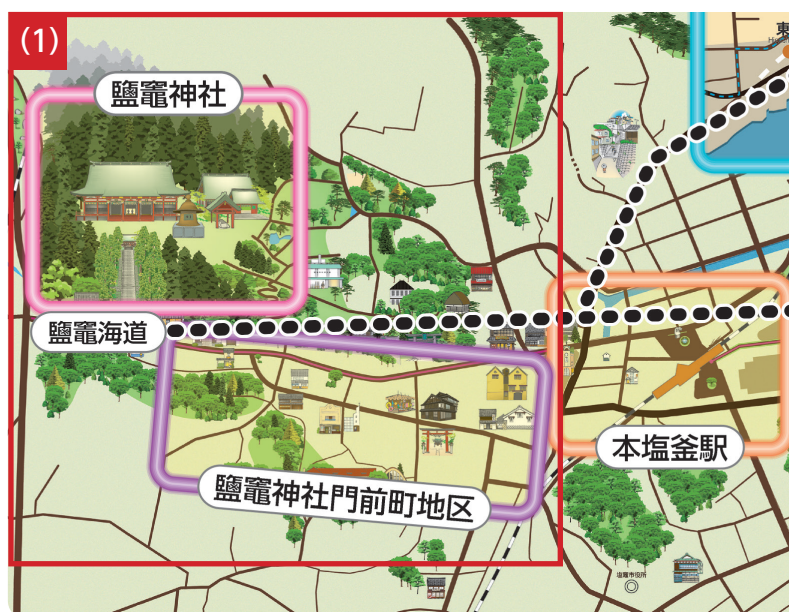
観光振興を図る4つの観光拠点

- (1) 鹽竈神社と門前町地区
- (2) ベイエリアとマリングート地区
- (3) 市場地区
- (4) 浦戸諸島



1 塩竈神社と門前町地区

塩竈市の顔となる観光拠点として、塩竈の歴史と文化を物語として、全国、海外に発信して、多くの観光客を集客します。また、塩竈神社の門前町として、体験、食事、買い物など、さまざまな活動を楽しめるにぎわいのまちをつくります。



門前町のまちなみ

観光拠点	鹽竈神社と門前町
名称	(仮称)しおがまさま通り(門前町に名前をつけます)
コンセプト	鹽竈神社を参拝したのち、門前町で塩竈の歴史、文化、食を体験したり、お土産の買い物を楽しんだりします。
テーマ	鹽竈神社のパワーでご利益をいただく
観光客のターゲット	・宮城県内および全国の幅広い世代 ・宮城県内の20～30歳代の女性 ・首都圏の20～30歳代の女性 ・訪日外国人旅行者
集客方法	・鹽竈神社のご利益を発信 ・門前町をブランド化して発信
観光資源	○鹽竈神社エリア 鹽竈神社、志波彦神社、御臺(おだい)橋、鹽竈神社博物館、表坂、七曲坂、裏坂、旧亀井邸、勝画楼、日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」 ○門前町エリア 御釜神社、酒蔵、味噌醤油蔵、和菓子屋、洋菓子屋、陶器屋、御茶屋、カフェ(旧あびや旅館)、蒲鉾店、寿司屋など ○アートエリア 杉村惇美術館
祭り・イベント	節分祭、帆手まつり、花まつり、藻塩焼神事、流鏑馬神事、みなと祭、神々の月灯り・花灯りなど
体験	鹽竈神社で御朱印をいただく、和服の着付けと散策、日本茶講座、日本酒の利き酒、MYラベル作り(阿部勘酒造店)、酒蔵ガイド、そのほか
食事	カフェでお茶とスイーツ、寿司
買物	かまぼこ、和菓子、洋菓子、日本茶、藻塩、日本酒、味噌醤油、陶器など
宿泊	ホテル
周遊コース	周遊コース ○鉄道 ・本塩釜駅から鹽竈海道を歩いて表参道から鹽竈神社を参拝し、七曲坂から本町通りに入り散策 ○自動車 ・本塩釜駅周辺の駐車場に車を止めて、そこから神社と門前町を散策
まち歩きの仕事掛け	・本塩釜駅構内の観光案内所 ・娯楽性のある門前町歩きガイドの育成
リピートの仕事掛け	・鹽竈神社の年間催事を情報発信 ・門前町でイベントを開催

■ 塩竈神社・門前町地区のアクションプラン

番号	名称	事業主体
①	門前町のブランディング（風情づくり）	門前町の推進組織
②	娯楽性のある門前まちあるきガイドの育成	門前町の推進組織
③	門前町のイベント開催	門前町の推進組織
④	門前町の新商品・サービスの開発	門前町の推進組織
⑤	観光案内所のインバウンド対応とまちなか観光案内の充実	市・観光物産協会・観光関連団体
⑥	日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の魅力発信	市・ボランティアガイド

名称	①門前町のブランディング（風情づくり）
事業目的	塩竈神社の門前町にふさわしい、みなから親しまれる愛称、ロゴマークをつくり、塩竈神社と門前町の一体感を醸成する。
位置	本町・宮町周辺
事業概要	・愛称づくり ・ロゴマーク ・物語（ストーリー） ・リーフレット ・インターネットホームページ など
事業主体	門前町の推進組織
事業期間	短期

名称	②娯楽性のある門前まちあるきガイドの育成
事業目的	塩竈神社を参拝したあとの、門前町散策を楽しむために、商店を案内するガイドを育成する。
位置	本町・宮町周辺（歴史・文化に強いボランティアガイドと役割分担する）
事業概要	・門前町のまち歩き散策に協力してくれる商店や資源の整理 ・商店や資源の魅力を整理してテキスト化 ・外部企業などと連携して娯楽性のあるガイドプログラムの作成 ・外部企業などと連携してガイド人材の確保と育成
事業主体	門前町の推進組織
事業期間	短期

名称	③門前町のイベント開催
事業目的	既に行われている事業を含め、年間を通じて、常に催事が行われている商店街として、集客・誘客の魅力を高める。
位置	本町・宮町周辺
事業概要	・年間を通じて毎週集客に繋がるイベントを企画・開催する ・本町通りのストリートと既存の公園を活用する ・人力車の運行 ・着物の着付けサービス ・屋台やマルシェの開催 ・夜市の開催
事業主体	門前町の推進組織
事業期間	短期

名称	④門前町の新商品・サービスの開発
事業目的	鹽竈神社に参拝ののち、門前町で食べる、買う、体験するなどを楽しめるように、それぞれの商店は新商品やサービスを開発する。
位置	本町・宮町周辺
事業概要	・門前町で歩きながら食べられる軽食を開発して屋台で販売 ・塩竈にしかない郷土料理を飲食店で開発 ・スイーツなど新お土産の開発と販売 ・着物の着付けサービス ・酒蔵見学、利き酒体験 ・レンタサイクルの導入（観光拠点・近隣市町を結ぶ） など
事業主体	門前町の推進組織
事業期間	短期

名称	⑤観光案内所のインバウンド対応とまちなか観光案内の充実
事業目的	訪日外国人旅行者を誘客するために、観光案内所および観光ガイドの多言語対応を強化する。又、訪日外国人に限らず、観光客に対し、商店主などと連携したまちなか案内の充実。
位置	本塩釜駅構内 観光案内所（市内全域に広げる）
事業概要	・多言語対応の案内所スタッフの拡充 ・パンフレットの制作と配布（多言語・まちなか案内） ・観光ガイドの養成と確保（多言語・まちなか案内） ・まちなか案内の協力体制づくり
事業主体	市・観光物産協会・観光関連団体
事業期間	短期

名称	⑥日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の魅力発信
事業目的	日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」を構成する市町と連携し、観光客へ塩竈の有形無形文化財等の魅力、歴史を発信する。
位置	塩竈神社、籬島
事業概要	・歴史ガイドによる塩竈の魅力ある歴史資源の紹介 ・勝画楼の保存活用 ・歴史ガイドの育成
事業主体	市、ボランティアガイド
事業期間	短期

2 バイエリアとマリングート地区

本塩釜駅から東に展開するバイエリアとマリングート地区は、広域周遊型の松島湾観光の起点としての役割に加えて、バイエリアの緑地や公園とマリングートを、観光客が海辺の景観を楽しむエリアとして位置付けます。

また、対岸の市場地区と結ぶシャトル船などの二次交通で連携して、観光客が海に触れて、水産物を買ったり、食事を楽しんだりする観光エリアとします。



マリングート塩釜

観光拠点	ベイエリアとマリングート地区
名称	みなとオアシス
コンセプト	ベイエリアの公園、緑地、マリングートを、道の駅的な海辺の観光交流施設とし、子どもからシニアまでが楽しく遊べるマリン・レクリエーション地区とします。
テーマ	海辺で遊ぼう、千賀の浦
観光客のターゲット	・塩竈市の子どもを持つ家族から高齢者までの幅広い市民 ・仙台市など県内周辺自治体の子どもを持つ家族 ・仙台、塩竈、松島を訪れる県外観光客
集客方法	・松島湾観光の発着点として全国の旅行会社や情報媒体に発信 ・地域の情報媒体を活用した情報発信の強化 ・観光キャンペーン等でのPR
観光資源	○公園・緑地 ・御座船の展示と公開 ○みなとオアシス ・農水産物直売所の常設 ・空きスペースを活用した食事の提供やギャラリー ○ふ頭（棧橋） ・松島湾観光船 ・浦戸諸島行定期船 ○その他 ・魚市場などの観光拠点を結ぶ二次交通（シャトル船）
祭り・イベント	夏休み子どもイベント（公園・緑地）、みなと祭、季節の農水産物の収穫祭（海苔、かき、その他）
食事	・マリングート内レストラン ・公園でお弁当
買物	・浦戸諸島の海産物・水産加工品（海苔佃煮、弁当など）・農産物 ・小規模事業者の加工食品（菓子、食品、総菜、弁当など）
宿泊	・ホテル ・浦戸の民宿、ペンション
周遊コース	・魚市場などの観光拠点を結ぶ二次交通で移動
まち歩きの仕掛け	・JR 本塩釜駅から、海の眺めを楽しみながらマリンデッキを歩く
リピートの仕掛け	・農水産物直売所の特産品でファンづくり

■ バイエリアとマリゲート地区のアクションプラン

番号	名称	事業主体
①	みなとオアシスとしての機能強化	市、指定管理者、生産者
②	マリゲートと魚市場を結ぶ二次交通の運航	交通事業者、市
③	マリゲート3階空きスペースの活用検討	民間事業者、指定管理者、市
④	マリゲート1階空きスペースの活用検討	民間事業者、指定管理者、市

名称	①みなとオアシスとしての機能強化
事業目的	マリゲートのコンセプトを、地産地消に展開することで、観光客に魅力を有する施設にします。
位置	マリゲートとバイエリアの公園・緑地
事業概要	○マリゲートの空きスペースの利活用 ・農水産物直売所の導入（浦戸諸島などの部門も持つ） ・千賀の浦ギャラリー
事業主体	市、指定管理者、生産者
事業期間	短期～中期

名称	②マリゲートと魚市場を結ぶ二次交通の運行
事業目的	バスと船でマリゲートと魚市場・塩釜水産物仲卸市場地区を結んで、観光客の回遊性を高め滞在時間を延ばし、観光消費額の増大を図る。
位置	マリゲートと魚市場の間
事業概要	継続可能なシャトル船の運航、周遊バスの運行
事業主体	交通事業者、市
事業期間	短期～中期

名称	③マリゲート3階空きスペースの活用検討
事業目的	マリゲート3階の空きスペースを有効に活用するための検討を行う。
位置	マリゲートの3階
事業概要	大型レストランや、休憩スペース（カフェ等）の誘致を検討
事業主体	民間事業者、指定管理者、市
事業期間	短期～中期

名称	④マリンゲート1階空きスペースの活用検討
事業目的	マリンゲート1階空きスペースを有効に活用するための検討を行う。
位置	マリンゲートの1階
事業概要	・フードコートや、休憩スペース（カフェなど）の誘致を検討
事業主体	民間事業者、指定管理者、市
事業期間	短期～中期

3 市場地区

塩釜水産物仲卸市場と塩竈市魚市場を核とした水産エリアは、塩竈市の水産業の集積地区であり、消費者が新鮮な水産物を食べて、買って、体験できる観光拠点として強化していきます。

塩釜水産物仲卸市場では、買い物だけでなく、マイ海鮮丼や、キッチンスタジオを活用した体験プログラムを提供しており、さらに集客のための事業を展開していきます。新しく整備された魚市場は、眺望が素晴らしい屋上テラスの活用、またキッチンスタジオなどで食の体験を提供していきます。



塩釜水産物仲卸市場の「マイ海鮮丼」

観光拠点	塩釜水産物仲卸市場と塩竈市魚市場
名称	(仮称) 塩竈フィッシュマンズマーケット
コンセプト	塩竈市が誇る新鮮な魚介類を楽しめるまち
テーマ	食べて、買って、体験して、おなかいっぱい
観光客のターゲット	・仙台市など宮城県内の個人客(若者) ・近県のグループ客
集客方法	・塩釜水産物仲卸市場のマイ海鮮丼は幅広い市場に発信 ・魚市場の(食と景観の提供)を仙台の若者・インバウンドに発信
観光資源	・塩釜水産物仲卸市場 ・塩竈市魚市場 ・籬が島(日本遺産)
祭り・イベント	・日曜朝市(毎週日曜日 6:00 ~ 14:00) ・どっと祭り(10月)
体験	・キッチンスタジオプロジェクト ・展示スペース ・魚市場(せり、展示スペース)の見学
食事	・塩釜水産物仲卸市場のマイ海鮮丼 ・魚市場のテラスで食の提供
買物	・生マグロ(ブランドマグロの「三陸塩竈ひがしもの」など)などの生鮮品や水産加工品の買い物
宿泊	・市内、近隣市町のホテル
周遊コース	・魚市場を見学し、塩釜水産物仲卸市場で、マイ海鮮丼、買い物を楽しむ。 ・徒歩圏内にある籬が島を訪れる。
まち歩きの仕事掛け	・魚市場などの観光拠点を結ぶ二次交通で移動
リピートの仕事掛け	・良質な商品の提供と体験メニューの磨き上げ

■市場地区のアクションプラン

番号	名称	事業主体
①	魚市場テラスの一般開放と利活用	市、民間企業
②	塩釜水産物仲卸市場における市場食堂（横丁）の整備	各店舗、水産振興センター
③	塩釜水産物仲卸市場のキッチンスタジオを活用した体験プログラムの充実	水産振興センター
④	魚市場の展示スペースの活用	市

名称	①魚市場テラスの一般開放と利活用
事業目的	魚市場のテラスの眺めが非常に優れていることを活用して、テラスを一般開放するとともに、塩竈の素材を活かした食を観光客に提供する。
位置	魚市場のテラス
事業概要	・眺めの良いテラスで食を提供 ・施設内の食堂からデリバリー ・ワゴンを利用して販売
事業主体	市、民間企業
事業期間	短期

名称	②塩釜水産物仲卸市場における市場食堂（横丁）の整備
事業目的	塩釜水産物仲卸市場の事業者が減少しつつある状況を転換するために、事業者が集合して横丁を形成し、個別事業者の負担を軽減しつつ、施設全体の集客力を高める。
位置	塩釜水産物仲卸市場の場外
事業概要	・場外に事業者が10～20集合した一体的な建物の横丁を整備 ・事業者の出展場所は固定とし、移動の負担を軽減する ・電気、水道、ガス、ごみなどを共有して管理と費用を軽減 ・営業時間を20時まで延長して、観光客の夕食需要に対応
事業主体	各店舗、水産振興センター
事業期間	中期～長期

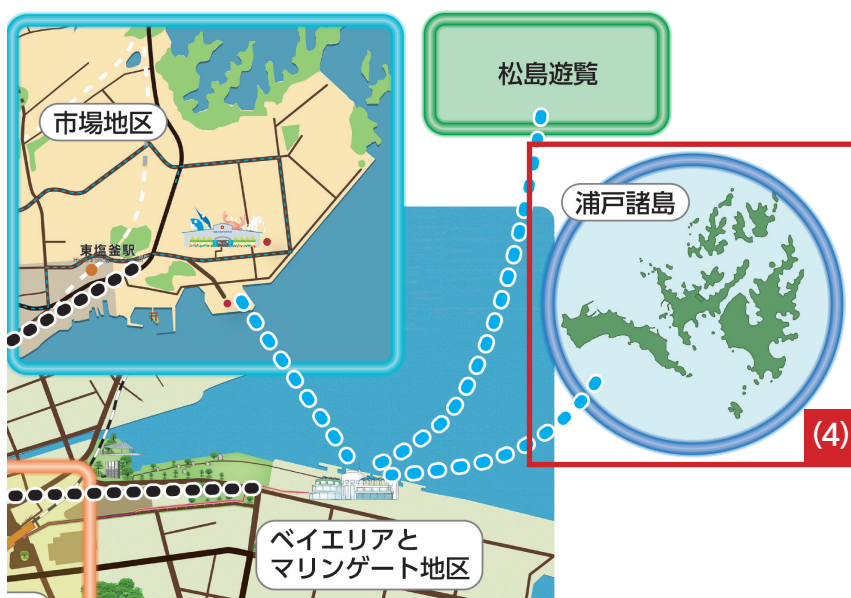
名称	③塩釜水産物仲卸市場のキッチンスタジオを活用した体験プログラムの充実
事業目的	塩釜水産物仲卸市場で体験プログラムを行うことで、利用者の固定化と滞在時間の長期化を図る。
位置	塩釜水産物仲卸市場内のキッチンスタジオ
事業概要	・ターゲットは仙台市内、宮城県内の女性、子どもを持つ家族連れ ・魚のおろしかたから料理まで各種のプログラムを用意 ・訪日外国人旅行者ににぎり寿司コースを提供
事業主体	水産振興センター
事業期間	短期

名称	④魚市場の展示スペースの活用
事業目的	魚市場の展示スペースを使って、魚に関する情報展示や体験学習を行い、子供や家族連れが楽しめるようにする。
位置	魚市場内の展示スペース
事業概要	・ターゲットは仙台市内、宮城県内の女性、ファミリー層 ・塩釜港で水揚げされる魚に関する情報の展示 ・魚を加工する体験教室
事業主体	市
事業期間	短期

4 浦戸諸島

浦戸諸島の持続的な発展を目的として、従来の漁業に加えて、都市との観光交流事業を新たに展開して、若手人材の確保と育成および定住に取り組みます。

浦戸諸島は観光産業としての基盤が復旧の途上であり、大規模な団体の観光客を受け入れることは困難であることから、まずは個人旅行者の受入から開始します。具体的には、都市部の富裕層で上質な非日常体験を探している市場に対して、浦戸諸島の島くらしを体験する機会を与える企画を提案します。次に、宮城県内や近県の子どもたちに対して、自然体験や漁業体験などの教育旅行を拡大します。



夏の浦戸諸島

観光拠点	浦戸諸島
名称	(仮称)「浦戸島じかん」
コンセプト	上質な非日常を味わえる島
テーマ	東京から3時間・仙台から1時間でいける島
観光客のターゲット	・東京在住で離島に行きたい人 ・教育旅行
集客方法	・旅行代理店からプレミアムな長期滞在型の高価格パッケージ商品として東京の知的な富裕層に向けて売り込みます。 ・広域連携の仕組みを活用し、首都圏、関西、北海道方面の旅行会社に教育旅行を売り込みます。
体験	のんびり島歩き、自然観察、季節の花めぐり、シーカヤック、島の歴史散歩、漁業体験(のりすき、カキ剥き)、静かなビーチ、オルレ(韓国版トレッキングコース)、みちのく潮風トレイル、海水浴、だんべっこ船
食事	専属シェフによるライブキッチン、船上寿司握り、かんばる浦戸の母ちゃん会弁当、民宿での食事
買物	島の女性達の作った加工品、漁協の水産物など
宿泊	民宿、ペンション
周遊コース	塩釜港から定期船、チャーター船
まち歩きの仕掛け	・島内は徒歩で散策 ・だんべっこ船での浦戸のウラガワ周遊 ・渡船
リピートの仕掛け	・非日常の体験で満足感を味わう

■浦戸諸島のアクションプラン

番号	名称	事業主体
①	遊休施設を活用した交流施設づくり	観光関連団体、島民、市
②	地元の事業推進組織づくり	島民、外部コーディネーター、観光関連団体、市
③	教育旅行の誘致	市、地区住民、民間団体など

名称	①遊休施設を活用した交流施設づくり
事業目的	遊休施設を活用して、休憩や宿泊できるようにして、浦戸諸島に宿泊滞在することで、島のくらしをゆったりと味わっていただく。
位置	島内
事業概要	・遊休状態にある民宿を活用して休憩宿泊施設の再整備 ・浦戸の母ちゃん弁当などの食事の提供サービス（デリバリー型） ・滞在時間を楽しくするガイドサービス
事業主体	観光関連団体、島民、市
事業期間	短期～中期

名称	②地元の事業推進組織づくり
事業目的	浦戸諸島の観光を島民といっしょになって企画、推進する組織をつくり、現地での受け入れ業務を一括して引き受け、稼ぐことのできる仕組みをつくる。
位置	島内
事業概要	島民が主体となって着地型観光商品を造成して、人員を確保・育成し、稼ぐことのできる組織をつくる。 ・船による送迎 ・宿泊 ・食事 ・体験
事業主体	島民、外部コーディネーター、観光関連団体、市
事業期間	短期～中期

名称	③教育旅行の誘致 子ども編「浦戸の自然と暮らし体感団交流」 大人編「大人の教育旅行 浦戸編」
事業目的	山間部や都市部の子どもあるいは大人が、浦戸で暮らす方々や浦戸小中学校との交流を通じ、普段体験できない島の自然と暮らし（非日常）を五感で感じ、感受性を豊かにするとともに、交流人口の拡大を図り、浦戸地区での消費額増加を目指す。
位置	浦戸地区の島内外
事業概要	浦戸に行かなければ、見ることも感じることもできない ・松島湾の中央から見える景色（最も美しい湾クラブ加盟） ・伊達藩の江戸廻米の港として栄えるなど歴史に基づく史跡 ・海に生活拠点を置く島独特の生活文化と漁業体験 ・シーカヤック、だんべっこ船、海水浴、ハイキング、島だけど農業などの体験を島の方々と交流を通じて非日常を体感する。 ターゲット：近県の山間部や県内・首都圏の都市部、子ども・大人 本市と交流のある村山市、南陽市の小学校など 宿泊：ブルーセンター、民宿等の民間施設（既存施設の活用と休止施設の再開） ステイステーション 連携：伊達な広域観光推進協議会や松島湾ダーランドなど
事業主体	地区住民、漁協、浦戸母ちゃん会、観光関連団体、山形大学、青山学院大学、市 など
事業期間	短期